

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名 <b>イントゥーイション・ソリッド</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.480</b>	△RG <b>0.054</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール：イントゥーイション・ソリッド**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

**比較対照ボール：イントゥーイション**

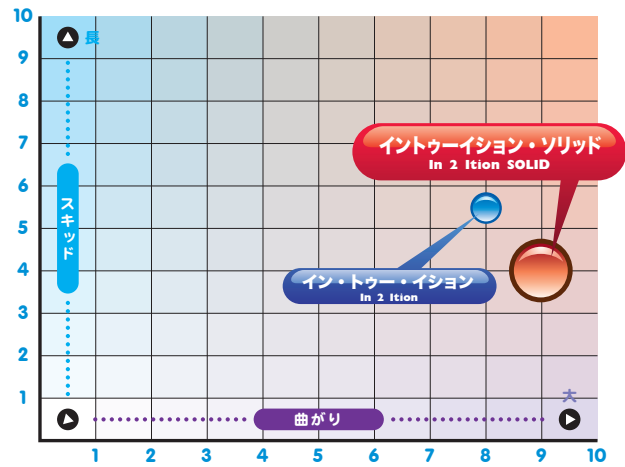
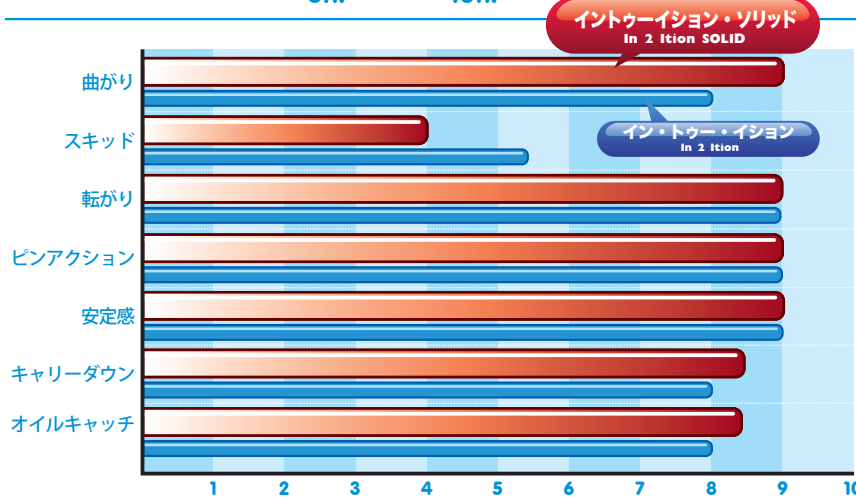
フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



### ボールの評価

しっかり走るけど掴む。やや遅れて動くけどそれで十分曲がり間に合う。IN2ITIONはHigh-Performance領域ですが、エネルギーを先まで蓄積させることを開発コンセプトにPrime DT(Delayed Traction)カバーストックが発表されました。今回のIN2ITION SOLIDはPrime ET(Extra Traction) SolidというSolid素材でも掴むだけを目的とせず、スキッドとキャッチのバランスを強化させ、”今までのSolid素材の印象を変える”ための意味でET(Extra Traction)と名付けられました。

今までのSolid素材のボールは特に、曇っている表面加工はどうしても動きが”もたつく”イメージがあったと思います。Solid素材の性質上、どうしてもオイル上の摩擦に適合度が強くなる反面、ドライエリアの反応の俊敏さがPearlやHybridに一步遅れをとる感じにあると思うのですが、ボールの進化とともにコンディションの削られる変化も以前より高低差が激しくなっているのではないかと思います。手前はしっかりとオイルゾーンであり、流されずに高低差の”際(きわ)”に滑り込ませるラインでは、手前に対しての強さと奥の動き双方を得られるボールでないと点数がまとまらなくなります。このIN2ITION SOLIDは、手前の厚いオイルでも滑らず、オイルを長く使用しても不安定さを感じさせずに奥でしっかりと動く感じは、まさにIN2ITIONを強化させたボールと言えます。PearlやHybridでややキャリアを感じ手前と奥のバランスが悪くなったとき、このIN2ITIONでやや中目に入りラインを取ることでまた違った世界が広がるかもしれません。

ご存知の通り、Columbia300とTRACKはEBI工場(ケンタッキー州ホプキンスビル)からメキシコへ完全移行されました。その移行前の最後のスペックとも言えるボールの一つがIN2ITION SOLIDです。極少量の入荷ですので早いもの勝ちになると思いますが、ご堪能ください。

### 特記事項

**入荷が少量でほぼ出回らない数での販売なので、遅れを取る前にオーダーしないと手に入りません。EBI最終スペックなのでご了承ください。**